



Say hello to our readers!

# ほんさんの手紙 12月号

LETTERS from HON-SAN vol.18 December, 2016

## 18 無事生まれました!

先月この「ほんさんの手紙」で、「四女が予定日過ぎてもなかなか出てこない」という話を書いたのですが、恐縮するほどたくさんのお客様から「あれから無事生まれましたか?」「また報告待ってますね!」と、ありがたいメッセージを頂戴しました。

本当にありがとうございます!

たくさんの方々にご心配をおかけし、そして祝福されながら、12日間待たせた分とびぎり可愛い産声を聴かせてくれた四女。

そんな幸せの産声にちなんで、「たくさん笑顔を連れて来てくれた音」という意味で「笑音(えと)」と名付けました。

四女ともなると生まれた瞬間にもう、嫁いでいくことを想像してしまう父親の僕(笑)

「どんな名字の旦那さんなら、この名前が似合うかな?」

「28歳で結婚したとしたら、僕は何歳だっけ?」

なんてことばかり、頭をよぎります。

実は最近おめでた続きで、僕の妹が遅まきながら結婚したのもつい先日のことでした。

こんな思いを親父はずっと、心の片隅に持ち続けて生きてきたんだと思うと、妹の結婚でさえ目頭が熱くなります。

人生の中で、自分のために人が集まってくれる機会が3回あると言います。

1回目は生まれた時。

2回目は結婚した時。

そして3回目は亡くなった時。



その中で、本人の思い出として記憶に残るのは2回目の結婚した時だけです。

だから多少面倒でも、気を使うことがあっても、「結婚式は挙げなさい」と妹に伝えました。

いつか笑音が結婚式を挙げるその日まで、僕は笑音の人生というドラマに「最高の名脇役」として登場し続けよう。

笑音が辛いとき、悲しいとき、もちろん幸せなときも、見つからないように陰ながら、笑音を全力で支える役を演じ切ろう。

僕の両親が、ずっとそうしてくれたように。

11月21日は、僕がそんなことを誓った日になりました。

そしてこれから、毎年この誓いを思い出す日になるんだと思います。

可愛い娘を持つ世の父親は、みんなこうなんだろうな。

お父さんたち!一緒に頑張りましょうね!(笑)

